

コンピュータ将棋 Selene アピール文書

【探索部分】

コンピュータ将棋の探索アルゴリズムは多々あり、あるアルゴリズムを使用するにしてもパラメータ（数値）を変えることにより最終的な挙動、指し手が大きく異なります。

Selene では、多数のアルゴリズムの中から、ある程度のランダム性で探索に使用するアルゴリズムとパラメータを選択し、勝ち残った場合に使用する。という過程を繰り返すことで最適な探索アルゴリズムを構築する方式です。

【盤面評価】

2駒の絶対位置、相対位置について、盤外と空きマスから間接的に評価しています。

（盤外もひとつの駒として扱う）

【機械学習】

指し手の評価が他の指し手と比べて極端に高い指し手については、探索深さを深くして学習を行っています。